

祈りの旅路

《高耀る藤原京の大殿》1969 株式会社ティラド蔵

平山

IKUO HIRAYAMA : A RETROSPECTIVE — PILGRIMAGE FOR PEACE

郁夫

2007年11月2日[金]-12月24日[月・振] ◎開館時間=午前9時～午後5時(土曜日は午後7時まで)入館は閉館の30分前まで ※11月2日は午前10時から
◎休館日=月曜日(12月24日は開館)

主催:広島県立美術館、広島テレビ、読売新聞大阪本社 後援:財団法人文化財保護・芸術研究助成財団、NHK広島放送局、中国放送、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、ひろしまPステーション76.6FM、エフエムふくやま、尾道エフエム放送
協賛:日本サムスン、光村印刷 広島展協賛:ウツミ屋証券、賀茂鶴酒造 協力:広島電鉄



広島県立美術館
HIROSHIMA PREFECTURAL ART MUSEUM



《絲綢之路天空》1982

仏教伝来からシルクロードへ——画業60年をたどる大回顧展

平山郁夫は昭和5(1930)年、現在の広島県尾道市瀬戸田町に生まれました。昭和27(1952)年に東京美術学校(現東京藝術大学)を卒業後、再興日本美術院展に出品を続け、《仏教伝来》をはじめ、仏教に関する伝説や逸話による文学的で抒情性豊かな作品で注目を浴びました。その後、玄奘三蔵のインドへの求法の道を追体験し、シルクロードを旅して、独特の画風の作品を次々と制作、画壇での確かな位置を獲得しました。その成果は奈良・薬師寺にある玄奘三蔵院の大壁画に結実しますが、一方で日本の伝統的な文化にも大きな関心を寄せ、奈良や京都など各地に取材した作品に新しい境地を

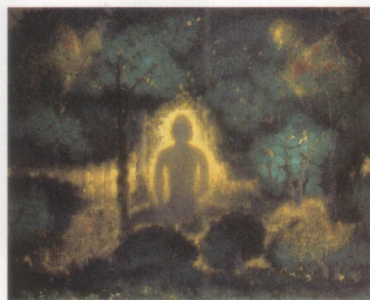
切り開いてきました。こうした活発な制作活動のかたわら、世界の歴史的な文化遺産の保存のために積極的に行動するほか、長年にわたって後進の指導にもあたってきました。その幅広い活動が画家としての強い使命感によっていることはいうまでもありませんが、被爆者としての原体験を通じた、生きること、生かされていることの意味への問いかけと、そこからくる平和への切実な祈りが行動の根底にあることを見逃すわけにはいきません。この展覧会は今年77歳の喜寿を迎えられたことを記念して、代表作約80点を一堂に展示し、60年にわたる平山郁夫の画業の軌跡をたどろうとするものです。



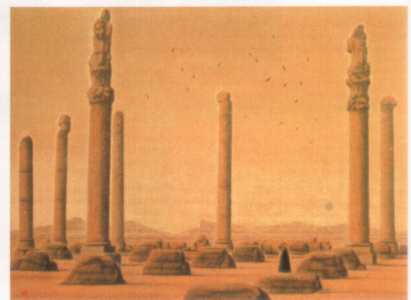
《仏教伝来》1959 佐久市立近代美術館蔵*



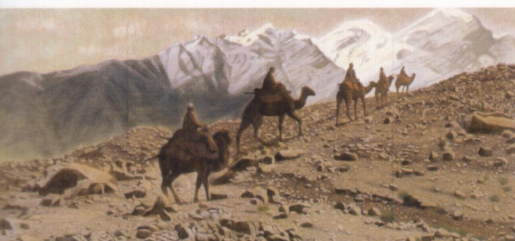
《シリア砂漠》1972 メナード美術館蔵



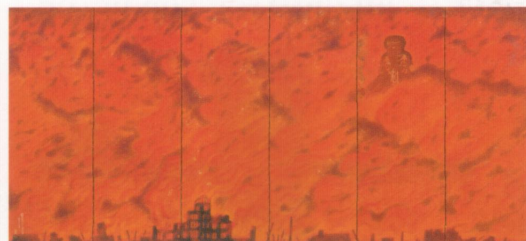
《建立金剛心図》1963 東京国立近代美術館蔵



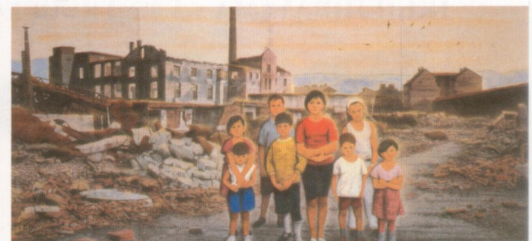
《ペルセポリスの遺跡》1974 箱根・芦ノ湖 成川美術館蔵



《絲綢の路 パミール高原を行く》2001 平山郁夫美術館蔵



《広島生変図》1979 広島県立美術館蔵



《平和の祈り-サラエボ戦跡》1996 佐川美術館蔵

*を付した作品は12月4日-24日に展示されます。

■ 講演会「平山郁夫 その人と芸術」 (広島県立美術館友の会共催)

講師：尾崎正明(東京国立近代美術館副館長)
日時：11月10日(土)14:30～
場所：広島県立美術館地階講堂
※聴講無料。申込不要(先着200名)

■ ギャラリートーク

11/9(金)、11/23(金・祝)、12/7(金)、12/21(金)
各回10:00～ 講師：当館学芸員

広島展協賛

ウツミ屋証券 賀茂鶴酒造

■ 入館料

	一般	高・大学生	小・中学生
当日	1,200	900	500
前売・団体	900	700	300

※団体は20名以上

※前売券は広島県立美術館、チケットぴあ(Pコード687-571)、
 Lawsonチケット(Lコード66046)、広島市・呉市の主な
 プレイガイド・画廊・画材店などで販売しています。

■ 問合せ先

広島県立美術館
〒730-0014 広島市中区上織町2-22 Tel.082-221-6246
 Fax.082-223-1444 http://www.1hpam-unet.ocn.ne.jp/



■ アクセス JR広島駅より約1km・広島城より約400m
・市内電車(「八丁堀」で乗り換え)白鳥線で「縮景園前」下車約20m

広島県立美術館